

ねやがわ

令和 5 年（2023 年）2 月 1 日号

No.249

議会だより



打上川治水緑地(寝屋川市写真協会提供)

誌面のご案内

定例会のあらまし	1
一般質問	
ねやがわ未来議員団	2・3
公明党市会議員団	4・5
大阪維新の会議員団	5
日本共産党市会議員団	6
無所属議員	6
議決結果一覧	7

12月定例会を開催

- ・令和3年度一般会計決算を不認定
- ・一般質問で議員17人が登壇
- ・第四中学校区における小中一貫型学校施設の整備に係る学校用家具(規格備品)を否決

令和4年12月定例会

寝屋川市議会は、12月1日から12月16日までの16日間にわたり、令和4年12月定例会を開催しました。

この定例会では、市長から提案された19件の議案のほか、議員が提案した寝屋川市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正及び意見書2件を審議しました。

また、一般質問は、12月13日・14日・15日の3日間行い、17人の議員が市政について質問しました。

▶ 令和3年度歳入歳出決算 ◀

～一般会計歳入歳出決算を不認定に～

12月定例会本会議(12月1日開催)において、令和3年度一般会計歳入歳出決算を不認定としました。

令和3年度一般会計歳入歳出決算については、9月定例会で閉会中の継続審査となり、10月3日、4日、5日及び12日に開催した予算決算常任委員会において審査され、審査の結果、不認定としていたものです。

なお、特別会計及び公営企業会計の歳入歳出決算については認定しました。

意見書

12月定例会で可決した意見書は、次のとおりです。

- ◆ 带状疱疹ワクチンへの助成及び定期接種化を求める意見書
- ◆ 知的障害に係る行政への国の対応拡充を求める意見書

人事案件

- ◆ 北川健治議員が淀川左岸水防事務組合議会議員の選挙に当選されました。

議案の概要

寝屋川市個人情報保護条例の全部改正

個人情報保護法制の一元化に伴い、「個人情報保護に関する法律」の施行に必要事項を定める(現行の「寝屋川市個人情報保護条例」について、全面的な見直しを行う)ため、全部改正を行うものです。

寝屋川市情報公開・個人情報保護審査会条例の全部改正

「個人情報の保護に関する法律」の施行及び「寝屋川市個人情報保護条例」の全部改正に伴い、「寝屋川市情報公開・個人情報保護審査会」の所掌事務その他の事項に關し所要の規定の整備を行う(現行の「寝屋川市情報公開・個人情報保護審査会条例」について、全面的な見直しを行う)ため、全部改正を行うものです。

寝屋川市消防団条例の一部改正

寝屋川市消防団の消防団員の任命に係る年齢要件について、年齢の上限を廃止するため、一部改正を行うものです。

財産の取得(第四中学校区における小中一貫型学校施設の整備に係る学校用家具(規格調製備品))

第四中学校区における小中一貫型

学校施設の学校用家具(規格調製備品)を具備するため、(1)学習関係諸室(普通教室・各種特別教室等)用ロッカー、本棚、掃除用具入、作業・調理・実験台、戸棚等、(2)管理関係室(校長室・職員室・保健室等)用ロッカー、書棚、戸棚等、(3)その他、昇降口・廊下の靴箱などを取得するものです。

一般会計補正予算

令和4年度一般会計補正予算(第8号)は、2億7257万5000円を増額するものです。主な内容は次のとおりです。

○ふるさと納税の促進に要する経費の追加補正

〔2048万9000円〕

○寝屋川斎場改修工事の減額補正

〔2493万5000円〕

○民間保育所等整備費補助金の減額補正

〔1億3143万4000円〕

○サービス提供体制確保事業の追加補正

〔3億5046万7000円〕

○おたふくかぜワクチンの追加補正

〔239万8000円〕

○寝屋川公園駅周辺地区都市再生整備計画事業の追加補正

〔1億2035万7000円〕

これにより、令和4年度一般会計予算歳入歳出の総額は、1120億1723万7000円となりました。

ねやがわ未来議員団

歩みの遅い施策の確実な前進と
市民目線のまちづくりを

馬場 才
井川 晃一
金子 英生
北川 健治
北川 光昭
西尾 勝成
板東 敬治
久野 須賀子
山崎 菊雄

※会派構成成員は、令和4年12月15日現在のものです。

現市政の進捗等について

問 4年前の選挙公報に犯罪発生件数の50%減少と上限500万円の災害時貸付制度の創設を約束されたが進捗は。

答 犯罪認知件数は、平成30年を基準に3年間で33%減少。災害時貸付限度額は350万円。

問 所信表明にて予算編成は議会の決算委員会などの審議内容も積極的に参考にする」と表明。令和3年度一般会計決算は本会議で不認定となった。令和5年度予算に議会が指摘した事項は反映されるのか。

答 議会の審議内容を精査し、必要と認める措置を講じた時には、速やかに議会に報告する。

社明と地域協働の統合について

問 社明が完全に統合される形、また名前を残しつつ地域協働協議会の中に入る形、今まで通り別組織として連携していく形、行政はそれぞれの形を良しとするのか。

答 地域の方が持続的に活動することが重要。地域の意向を尊重する。

問 統合する場合に社明の事業内容を継承するのが難しいと地域協働が判断した場合の活動資金の配分は。

答 社明の活動をそのまま地域協働にお願いするものではないが現時点では、活動資金を按分して交付することを説明している。

問 各地域で人権を担っているのは社明しかない。昨今LGBTQや様々な新たな課題とすべき人権問題が出てきている中、今後の地域での人権問題への取組についての考えは。

答 各地域での人権問題の取組は、非常に重要と考えており、社明または地域協働で取り組んでいただけるよう調整を進めていく。

災害対策の現状と今後について

問 北河内で本市のみが未策定の災害タイムラインの策定状況は。

答 早期策定に向け取り組む。

問 令和3年5月に国のガイドラインが変更され、支援を必要とする人

は福祉避難所に直接避難することになったが、本市のハザードマップには最初から避難所として市民が避難することはできませんと注意書きが書かれている。ガイドライン改定から一年半。この間、本市の「指定福祉避難所」の進捗状況は。

答 大規模災害発生時の初期期の混乱の中、施設側との調整等の課題があると考えており、慎重に対応していく必要があると認識している。

問 避難行動要支援者名簿について、対象者に案内、同意書を郵送するだけではなく、認定の際や更新の必要のある人にはその際に、また窓口等で、対面で丁寧な説明をすることを提案するが見解は。

答 対象者から問い合わせがあった場合は丁寧な説明を行っているが、今後介護保険の認定の際等に説明を行えるように調整していく。

子ども向けホームページの作成について

問 寝屋川市の状況や歴史、各地域の特色など、小中学生が学校の授業や自宅で調べる時、年相応のデジタルコンテンツがない。副読本の「わたしたちの寝屋川市」や「寝屋川市誌(市史)」「新聞記事」などを活用し、見て読んで分かる子ども向けのホームページを作成しては。

答 子ども向けホームページの作成に当たっては、効果や課題を踏まえ、掲載すべき情報や内容の精査などの検討が必要。他市事例等を参考に費用

対効果も含め、調査研究していく。

地産地消について

問 衛生管理に関する問題が発生したことから、現在、米の納入を停止しているが、既に改善され、食品の安全を確保する管理手法であるHACCP(ハサップ)に沿った衛生管理が徹底されており、再開を要望するが見解は。

答 関係各市の動向や状況を十分に踏まえ、再開時期を判断する。

マイナンバーカードの普及について

問 普及状況と普及促進の施策は。

答 申請率58・6%、交付率47・8%、健康保険証利用が可能な市内医療機関等は約36%。普及促進の施策は、新型コロナウイルスの接種会場や参議院選挙の期日前投票所での申請補助の実施、大型商業施設等での



マイナンバーカードのイメージ

出張受付などを行っている。
問 避難所でのデジタルケア受付やその他の活用方法は考えているか。

答 マイナンバーカードが市民生活に浸透している状況であれば有用に活用されると認識している。引き続き、全庁横断的に検討を進める。

一級河川寝屋川について

問 環境整備としての寝屋川の魚道整備は必要であると考えているが、その経過と計画は。

答 平成25年度は下観音橋付近、令和元年度は上観音橋付近を大阪府が整備。桜木水門付近は本年にワークショップを開催。当該地は治水対策上重要施設が近接し、大阪府がその影響など確認作業をしている。今後とも状況把握に努める。

周辺樹木の環境整備について

問 リラット前の巨木の剪定と勝手生えの処理についてその後は。

答 剪定後はパトロール等で勝手生え等がなくなっていることを確認済。

問 寝屋川護岸のツツジの大胆な剪定をすすめ、状況を広報に掲載してはどうか。

答 看板や広報誌等で剪定内容や景觀に配慮した取組について周知する。

問 池田秦線については、ウォーカブルな歩道にしていきたいために街路樹の植替えや花壇の見直しを求めるが見解は。

答 幅広い世代の人が安全で快適に通行できるよう、段差解消や幅員の有

効活用を図るため将来的には見直しと併せて検討が必要と考えている。

経産省への人材派遣要請について

問 過去定例会で国の機関への職員研修派遣について質問をしたことにより、平成18年から平成20年、平成20年から22年と各2年一人ずつ研修派遣が行われた。これについては、有益だったと思料しているが、その後、の人事異動を見てみると、あまり生かされていないように思える。そこで経産省へ派遣をするのではなく、市へ来てもらう派遣要請を行うことがベターと考えるが見解は。

答 施策の更なる活用等において重要な役割が期待されることから、今後の本市産業振興施策を見据える中で検討していく。

増加する自殺者対策について

問 本市においても自殺者が増加傾向にある中、令和4年10月閣議決定された自殺総合対策大綱を受けての新たな対策や考えは。

答 現在、庁内に自殺対策連絡調整会議を設置し、各部署が自殺対策を含めた取組を進めている。今後、更なる連携の強化を図っていく。

公共施設の利用について

問 北河内の本市以外6市の都市公園有料施設の市外の利用可否と料金設定、市民の利用優先度は。

答 有料施設を有する4市は何れも

市外利用が可能。料金設定は、各市の住民利用の場合、屋外テニスコートを例とすると、本市が1時間500円、他市が500円から800円の価格帯。各市住民の利用優先度については、3市は住民優先の抽選申込枠を別に設けている。

答 市内が約200団体、市外が約400団体。
問 予約システム全般における、希望日時重複時の本市住民の優先を検討することを要望するが、見解は。
答 市公共施設予約システムとの兼ね合いがあるが、検討する必要があるものと考えている。

請願・陳情の提出

市政について意見や要望があるときは、請願書や陳情書を市議会に提出することができます。

請願と意見書の提出を求める内容の陳情には、定例会ごとに提出期限があります。

3月定例会の提出期限は、2月16日(木)の午後5時まで。詳しくは、市議会ホームページ又は議会事務局までお問い合わせください。

声の議会だより・点字版議会だより 発行しています

目の不自由な方のために、紙面の内容を録音した「声の議会だより」「点字版議会だより」を発行し、御希望の方に無料で郵送しています。

御家族やお知り合いの方などにお知らせください。お電話で申込みができます。



議会事務局 ☎072-824-0010(直通番号)

公明党市会議員団

一人の声をカタチに
安心と希望を届ける施策を

村上 順一
池添 義春
岡 由美
高見 雄介
辻谷 恵一
野々下 重夫

人生会議の取組について

問 市として、人生会議の取組についてどのような認識をしているか。

答 生活の質、いわゆるQOLの向上や、本人の意思決定を尊重する上で、重要であると認識している。

送迎ボランティアについて

問 安定的な稼働、つまり必要な従事者を十分に確保するためにどのような方策を考えているか。

答 利用者のニーズに確実に応えるため、一人でも多くの従事者の確保が必要と考えており、社会福祉協議会とも協議しながら検討していく。

物価高による家計負担軽減のための生活支援について

問 現在の物価高騰による家計負担軽減のため、現金給付や商品券の支給などの生活支援策の実施は可能か。

答 本市の実情や国・府の支援策の動向を踏まえ、新たな物価高騰対策について必要性、優先度等を総合的に検討していく。

スマホアプリによる障害者手帳の表示について

問 障害者の生活や社会活動へのサポートのため、デジタル障害者手帳を導入し、市の施設で使えるようにすべきと考えるが見解を伺う。

答 障害者手帳の提示によるサービス利用の利便性向上を図ることができることから、導入を視野に課題の整理を進めている。

親亡き後等の支援について

問 「親亡き後の問題検討委員会」について、現在どのような進捗状況か。

答 障害者を支援する事業者、当事者等による意見交換を行っており、今後、当事者アンケートを行い、課題整理を進める予定である。

青少年の居場所について

問 青少年の居場所について、その必要性をどのように考えているか。

答 人間関係の希薄化等により社会的に孤立しがちな青少年が安心して過ごすことができる場として、また、自由に交流や学習・趣味の活動を行うことができる場として重要な

役割を担っており、その必要性は高いと認識している。

高齢者の補聴器購入支援について

問 認知症予防の効果を期待できる、高齢者の補聴器購入支援を要望するが、見解を伺う。

答 市民ニーズや、その有効性も含め、他自治体の動向を注視していく。

がん患者へのアピアランスケアについて

問 経済的負担を軽減し、安心して日常生活を送ることができるよう、医療用ウィッグ等の費用助成を検討すべきと思うが、見解を伺う。

答 脱毛など外見の変化による精神的負担及びそれらの購入にかかる経済的負担の軽減は、社会復帰への意欲につながるものと認識しており、導入に向け、検討していく。



医療用ウィッグのイメージ

地区防災計画策定による市民の自助・共助への意識改革について

問 市民が「自分の命は自分で守る」「助けられる人から助ける人へ」の意識改革が必要と考えるが、見解を伺う。

答 ハザードマップなどにおいて予測される危険性の他、地域コミュニティにおける役割や、市民自らの判断で避難行動をとることの重要性への理解を深めていただくためには、地域住民が共助の計画として策定する地区防災計画制度が有用であり、その検討過程においても、行政としての適切かつ効果的な支援が不可欠であると認識している。

災害時の聴覚障害者への対応について

問 「障害者災害時支援バンドナ」や「筆談ボード」などの備蓄体制づくりを防災課と障害福祉課で連携すべきと思うが、見解を伺う。

答 災害時にスムーズに支援を受けることができるよう、備蓄している障害者災害時支援バンドナや筆談ボードの活用について、当事者の声を聞きながら、検討していく。

家族介護慰労金支給等について

問 過去1年間介護保険サービスを利用していない人、市民税非課税世帯で要介護3以上などのある一定の条件を設けて支給する家族介護慰労金、また、介護離職した世帯に対す

問 慰労金支給に対する見解を伺う。
答 そのあり方等を含め、今後、調査・研究していく。

脱炭素社会の実現について

問 省工ネ家電を対象にした「省工ネ家電買い替え促進事業」を実施する必要があると考えるが、見解を伺う。

答 効果が当該事業の実施によるものかなどや買い替えに至る世帯等が限定していることを踏まえ、他市の状況等を含め、調査・研究していく。

大阪維新の会議員団

政治家の覚悟を持って

行財政改革

中川 健
 奥 大輔
 中谷 剣将
 福田 篤志

市内経済の喚起策について

問 商品券事業の状況をどのように感じているか、市民の声はどのようなものがあつたか。

答 プレミアム率が過去最大の30%であり大きな消費喚起効果が見込まれると考えている。家計の助けになる等のお声を頂いている。

タウンミーティングについて

問 全体の参加人数を伺う。
答 全会場を合わせ334人の参加であつた。

問 タウンミーティングの目的は。

答 市長が直接地域に伺い、市民と市長との意見交換を通じ地域の課題や市民ニーズを把握し、今後の施策・事業の参考とするものである。

誰一人取り残さない教育について

問 不登校対応について、登校復帰



教育支援センターに登校支援教室が設置されている

を前提としない文科省の考え方に對し本市の所感を伺う。

答 学校に登校するという結果のみを目標とするのではないことや、社会的自立等へのリスクの存在について受け止め、児童生徒の社会的自立に向けた取組を推進していく。

問 民間フリースクールとの連携の

※会派構成員は、令和4年12月15日現在のものです。

状況は。

答 不登校児童生徒の在籍する学校教員が施設を訪問し相互の情報交換を通して連携している。教育委員会としても民間フリースクールと意見交換等を行い連携を図っている。

問 ギフテッドに対して本市の認識は。

答 特定分野に特異な才能のある児童生徒を含めた様々な子どもたちに對して、その将来を見据えた丁寧な指導を行っていく。

保育園の指導監督について

問 児童福祉法施行令では一年に一回以上と定められている実地検査が本市では二年に一回の実施である。職員が足りないことが理由と福祉部指導監督課から伺つたが事実か。

答 課長からそのような話があつたかもしれないが、限られた人数で業務を回していく。課長のマネジメントも発揮しながら対応していく。

問 職員がいれば二年に一回ではなく一年に二回監督をすることは可能と考えて良いのか。

答 一年に一回ではなく、二年に一回の実施と考えている。今のところ監督をする中で重大なことが起きていない状況である。現状の8名という限られた職員数の中で今の業務にあたる。

問 二年に一回の実地検査で目的を果たしていると考ええるか。

答 大阪府からの権限移譲前は三年に一回であつたこと、毎年度保育所調書の提出を求め確認することを目

▶ 本会議を録画配信しています! ◀

市議会で開かれる本会議の様子は、インターネットで録画配信しています。市議会ホームページの「本会議録画配信」(右のQRコード)から視聴できます。

議会だよりの誌面では、お伝えできなかった議案の審議や一般質問の様子を御覧いただけます。



的は果たせていると考える。
問 園の関係者から福祉部指導監督課に對し通報、相談、告発があつた場合どのように対応するのか。実名の場合、匿名の場合それぞれ伺う。
答 実名・匿名に関わらず、通報等の内容や保育園との関係を取り、通報等の事実に係る証拠があれば、それを求め、その上で今後の対応を検討する。

日本共産党市会議員団

物価高騰から市民の

命と暮らしを守る市政を

太田 徹
中林 和江

問 物価高騰から市民生活を守るため水道基本料金の免除延長又は再実施を求める。

答 今後も適切に対応する。

問 新型コロナウイルス感染症対策を一般施策へ転換することを求める。

答 小中学校のトイレ清掃や消毒用消耗品の配置については、感染状況や児童生徒がトイレ清掃を行うことの必要性等を踏まえて検討する。

問 マイナナンバーカードの健康保険証と通常の保険証で窓口負担に差があることについて見解を。

答 診療報酬改定について注視していく。危機事象の発生を受け、子どもが通う施設等の安全管理はどのよう

産業振興センターの4階の学習室

問 幼小中学園は学校安全計画等を作成、保育所等は安全管理に関するマニュアルを作成している。

答 無料の学習室の設置を求める。

問 今後の施設整備と併せ検討する。

答 シングルマザー支援として市内のフードバンク情報

の周知を求める。

答 支援の必要なひとり親家庭に情報を提供していく。

問 民生委員からの疑問や意見などを聞く場の設定を求める。

答 各種部会等の中で意見等を丁寧

問 市として学校図書館の運営方針を決めるよう求める。

答 各校の状況等を踏まえ計画的・組織的に運営している。

無所属議員

信念ある行動と政策提案の実現力

森本雄一郎

予防接種法に基づく救済制度があります

問 新型コロナウイルスワクチン接種と副反応との因果関係が認められた件数は。

答 8件受理し7件は国へ進達済み。

問 デイベート教育の基礎について。世帯所得と子供の学力は比例

関係にある。それは学習機会確保の

無所属議員

市民生活に快適な環境をつくりま

元橋 理浩

金銭的余裕があるからではなく、知的好奇心等が高いことが挙げられる。家での会話等が豊富にあると心意作用が働き論理的思考等が構築され、その差が学力にも影響すると考えるが。

答 家庭の状況にかかわらず、等しく学びの基礎を確かなものにする。



自習の様子

問 市民の要望が多い学習室を拡充する必要があると思うが見解は。

答 市民ニーズが高いことは認識しており、今後の施設整備と併せて検討する。

問 道路の損傷状況の把握をAI（人工知能）を活用した場合、これまで実施してきた

目視、通報等と比較してどのような効果があるのか。

答 道路パトロールや市民等からの通報以外での損傷箇所を高い精度で早期に確認することができれば、効果的であると考えている。

議会日誌

【10月】

14日 議会運営委員会

19日 本会議(10月臨時会(第2回))／予算決算常任委員会健康福祉分科会・予算決算常任委員会文教生活分科会・予算決算常任委員会総務都市創造分科会、予算決算常任委員会

【11月】

9日 議会広報委員会／幹事長会

25日 全員協議会／議会運営委員会

【12月】

1日 本会議(第1日)／議会広報委員会

2日 健康福祉常任委員会(※)

5日 文教生活常任委員会(※)

6日 総務都市創造常任委員会(※)

(※)各常任委員会終了後に予算決算常任委員会分科会を開催

8日 予算決算常任委員会／議会運営委員会

13日 本会議(第2日)

14日 本会議(第3日)

15日 本会議(第4日)

16日 議会運営委員会／本会議(第5日)

27日 幹事長会

【1月】

13日 議会広報委員会



12月定例会 議決結果一覧



議案番号	件 名	議決結果
認定第1号	令和3年度寝屋川市一般会計歳入歳出決算認定（審査報告）	不認定
認定第2～8号	令和3年度寝屋川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定（審査報告）（他4特別会計、2公営企業会計）	認 定
議案第77号	寝屋川市個人情報保護条例の全部改正	可 決
議案第78号	寝屋川市情報公開・個人情報保護審査会条例の全部改正	可 決
議案第79号	寝屋川市一般職の職員の給与に関する条例及び寝屋川市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正	可 決
議案第80号	寝屋川市消防団条例の一部改正	可 決
議案第81号	寝屋川市立学校設置条例の一部改正	可 決
議案第82号	令和4年度寝屋川市一般会計補正予算（第8号）	可 決
議案第83号	令和4年度寝屋川市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可 決
議案第84号	令和4年度寝屋川市介護保険特別会計補正予算（第3号）	可 決
議案第85号	令和4年度寝屋川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可 決
議案第86号	令和4年度寝屋川市水道事業会計補正予算（第3号）	可 決
議案第87号	令和4年度寝屋川市下水道事業会計補正予算（第1号）	可 決
議案第88号	工事請負契約の締結（都市計画道路対馬江大利線 大利橋外1橋 橋梁工事（2期））	可 決
議案第89号	財産の取得（第四中学校区における小中一貫型学校施設の整備に係る学校用家具（規格調製備品））	可 決
議案第90号	財産の取得（第四中学校区における小中一貫型学校施設の整備に係る学校用家具（規格備品））	否 決
議案第91号	財産の取得（寝屋川市立中学校における中学校給食用物品（消耗品））	可 決
議案第92号	大阪府都市競艇企業団規約の変更に関する協議	可 決
議案第93号	指定管理者の指定（寝屋川市立市民活動センター）	可 決
議案第94号	指定管理者の指定（寝屋川市立西高齢者福祉センター）	可 決
議案第95号	指定管理者の指定（寝屋川市立市民体育館）	可 決
選第7号	淀川左岸水防事務組合議会議員の選挙	当 選
議員提案第19号	带状疱疹ワクチンへの助成及び定期接種化を求める意見書	可 決
議員提案第20号	知的障害に係る行政への国の対応拡充を求める意見書	可 決
議員提案第21号	寝屋川市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	否 決

◎議案内容・議決結果は、市議会ホームページで御覧いただけます。

市議会傍聴に来られる皆様へのお願い

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市議会傍聴時には、以下のことに御協力をお願いします。

- 消毒液による手指の消毒、マスク着用
- 間隔を空けた傍聴席への着席
（通常よりも席数を減らしており、傍聴できない場合があります）
- サーモグラフィカメラによる検温
（37.5℃以上の発熱が確認された場合は傍聴をお断りする場合があります）

3月定例会の日程（予定）

2月27日(月) = 本会議
 28日(火) = 健康福祉常任委員会・分科会
 ※午後2時…文教生活常任委員会・分科会
 3月1日(水) = 総務都市創造常任委員会・分科会
 6日(月)、7日(火) = 本会議(会派代表質問)
 8日(水)、9日(木) = 健康福祉常任委員会・分科会
 10日(金)、13日(月) = 文教生活常任委員会・分科会
 15日(水)、16日(木) = 総務都市創造常任委員会・分科会
 22日(水) = 本会議

◎いずれも午前10時から(2月28日の一部を除く)。議事の都合で変更される場合があります。
 ※詳細については、市議会ホームページ(右のQRコード)を御覧下さい。

